

教育だより

8月

ついに実働！ 協育ネットワーク事業

Q.《国東市協育ネットワーク》とは？

A. これまでは、子どもの教育（子育て）については、学校で行うものと考えられてきました。少子化、核家族化、地域の高齢化など子どもたちを取り巻く環境の急激な変化により、見直されてきたのが「教育の協働」です。これは、学校、家庭、地域社会が持つ教育力の良さを生かして、地域総ぐるみでの子育てを行っていく取り組みのことで、ちなみに「協育」とは協働して育てるという意味の造語です。

Q. どのような仕組みになっているのですか。

A. ①「学校支援事業」

学校が求める学習支援等に、いろいろな技術や経験をお持ちの地域の方々に派遣します。

②「放課後子ども教室」

工作教室・料理教室・昔の遊び

等いろいろな体験活動を通じて異年齢交流や児童間交流を深めて、社会性を育みます。

③「放課後学びの教室」

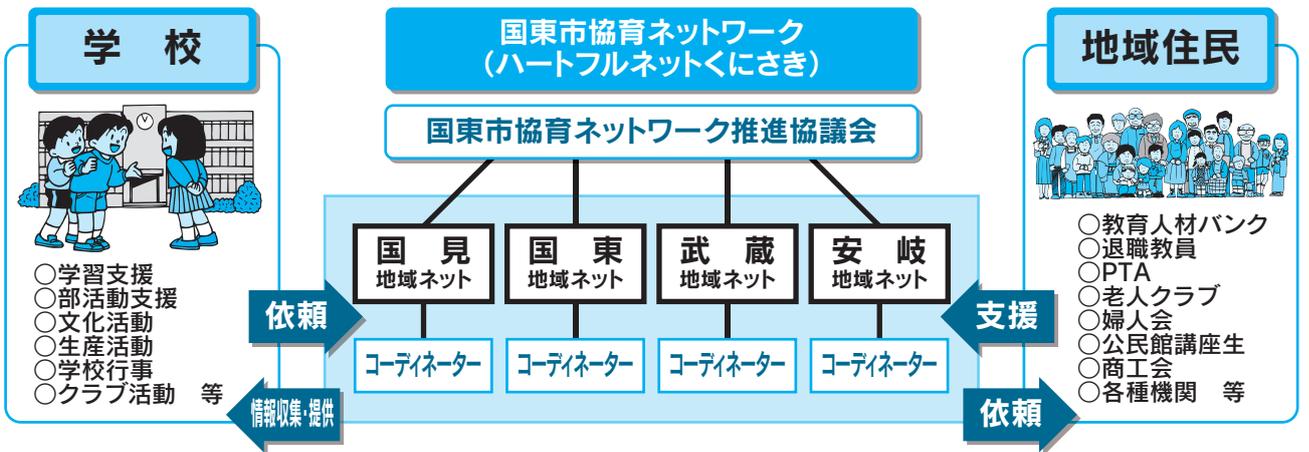
学習習慣の定着や基礎・基本の再確認と、地域の方々との交流による礼節等社会性を醸成します。指導は、教職を退職された方や保護者の方々にお願いしています。

以上、原則として小学校区ごとに3つの事業に取り組みます。

事業の推進にあたっては、学校の要望する人材（指導者）をお世話するコーディネーターを4町に1人ずつ配置しています。

- 国見地域：行平幸司さん
- 国東地域：萱島かよさん
- 武蔵地域：伊藤恭子さん
- 安岐地域：伊藤恵子さん

学力はもろろん社会が受け継いできた経験や知識を伝える場としても機能させ、地域総ぐるみで子どもを育てる環境をつくりまします。



今年の夏も ステップアップで頑張ります

「学力向上ステップアップ事業」とは、子どもたちのつまづきを早期に解消し、基礎的・基本的な内容の定着を図るため、夏休みを利用して、先生と学習サポーターの皆さんが協力し、算数を中心とした補充学習を行う事業です。市内全ての小学校で実施します。各中学校では「学習相談」が行われています。

対象者・時期・教材

■学習対象者

小学校4年、5年、6年生の合計3学年の児童（児童の参加は任意です）

■実施時期

夏休みのうち5日間（各小学校が定める日）

■教材

算数のプリントを配布します。

